

第2回PTA部会 議事録

(1) 日 時：令和7年11月5日（水）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2) 参加者：委員（11名）、事務局6名

(3) 内 容

- ①部会長あいさつ
- ②資料説明及び意見交換
 - ・スクールバスについて
 - ・ジオアリーナ周辺の動線と通学方法について
- ③その他

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（スクールバスについて）

部会長

- ・皆さんのお手元にPTA部会のレジメ、それに付随して資料1から資料6あと参考資料ということであろうかと思う。まずはこのレジメに沿って第一番目の議題であるスクールバス、これについてのこれまでの経緯、市の方でいろいろご検討いただいた内容も含めて説明をお願いしたい。

事務局

- ・今までいろいろな議論をいただきて、事務局としてはこんな考えで望みたいということで、よろしくお願ひしたい。では、資料1をご覧いただきたい。基本的な考えになる。これは当初から二つのこと、一つは勝山高校周辺の交通状況や通学路の状況を考慮して生徒の安全安心な通学環境を整えたい。二つめはスクールバスの利便性を向上して雨とか雪の際の保護者の皆様の送迎の負担をなくすようになっている。スクールバスとしては今現在路線バスが走っているが、そこを基本に運用する。朝1便、夕2便を考えている。利用対象者は、家からジオアリーナまでの距離が1.5kmよりも遠い生徒を対象としたい。停留所は原則として今現在使っているバス停を利用して、場合によつては少し移動もあるかもしれない。そしてこのバスには一般の方、高校生も乗車できる。運賃は、全員含めて無料ということを想定している。この考え方で進めてきたと思う。それでは運行方法について今現在の案を説明する。一番目だが、市内各方面から12路線で、ジオアリーナを発着場にして定時定路線、決まった時刻に決まった路線で運行する。全路線が四つのところ、勝山病院とジオアリーナ、サンプラザ、勝山駅を通ることとしている。資料2をご覧いただきたい。1番から12番まで書いてあると思うが、ずっと考えてきた路線になる。もっと別のところを回ってほしいという話もあつたし、できるだけ早く行かないといけないだろうという話もあった。そんな中で1.5km以上になる生徒が306名いるが、その中学生は全員乗れるバスを準備したいということになる。運行の仕方としては、②に書いてあるように、土日、祝日、盆の期間、年末年始を除いていくと、大体年間240日になる。これで運行したいと考えている。③だが、議論がいろいろあった。高校生はどうするのか、逆に中学生をここまで待たせておくのかなど。結局は運転手の勤務時間もあるし、高校生については、中学生よりも長い時間学校にいて、勉強している生徒、そのまま続いて市立図書館へ行って勉強する生徒、さらには教育会館の自習室を利用して夜9時半まで勉強している生徒もいる。そ

ういったことも考えて、まず中学生を少し優先的に考えさせていただいた。資料3をご覧いただきたい。ここに時間帯が書いてあると思う。上の方が朝の1便で、7時55分に着くバスが3台。次に8時に5分遅れで3台、さらに5分遅れて3台、最後8時10分で3台となっている。これは勝高とも校時表を合わせていただいて、右側の四角の中に書いてあるが、1限目の開始は8時40分で、高校も中学校も8時40分になると、1限目のチャイムで開始になる。8時10分に着くとここから地下横断歩道を通って、教室に行き、高校は高校、中学校は中学校で活動をしていただいて、1限目8時40分開始ということで考えている。次に帰りは、下に2便書いてあるが、まず1便目は16時40分に3台、5分遅れで3台さらにその後3台ずつ出ている。これは何かというと、授業の終わりになる。中学校と高校は授業の終わりが少し違う。それで、時間割を相談させていただいた。6限目の終わりが15時30分、そして中学校の生徒は掃除、帰りの会をやって、大体16時15分で帰りの会が終了し放課後になる。表には放課後16時30分と書いてある。ここで、中学生は部活動へ流れていく。この16時30分というのは実は勝山高校も16時30分に7限目が終わるので10分しか余裕はないが、部活なしで帰ろうという生徒は、この1便目に乗れる形になっている。その後、中学校、高校は部活が始まり、部活の終了が中学校は17時40分になる。さらに高校は引き続いて19時近くまでやっていて、そこをどうするかという話があつたが、やはり中学生を優先的に考えさせていただいて、17時50分に2便目が出て、5分遅れずつで出していく。運転手の勤務時間等もあって、この時間帯で考えさせていただいた。高校生が乗れないではないかということだがそういうことになる。部活動をやっていたり、勉強を残っていていたりということで、現在もここから後のバスの運行はない。申し訳ないがこういう時刻で考えさせていただいた。3番、バス車両について、バスはどんな車両を考えているのか。①に書いてあるが、中型44人乗りでこれが5台、小型28人乗りだが、これも5台、そしてコミューター13人乗りだが、2台購入を希望したい。全部で12台になるが、12台は8年度の当初予算で購入を希望したいと考えている。資料4をご覧いただきたい。12路線でバス停で乗る中学生の人数が書いてある。右側へいくと、終点と書いてあるが、例えば平泉寺線でいうと、全部で23人の対象中学生がいる。右側に書いてあるのは小型4WDだが、28人乗りの小型1台で回すということになっている。次の猪野瀬方面だと35人になるので中型の2WD、44人乗りとなっている。コミューターというのは北谷方面と野向方面、ここは生徒が9人と10人なので、コミューター4WDとなっている。谷の方へ行くところは4WDを考えている。だから、ここの車両にマックスの中学生が例えば23人乗ったとして余っている席に一般の方や高校生も利用したい人は乗れるということになっている。最後に4番目の話だが、資料1に戻っていただいて、業務の委託について、今考えているのは、12台のうち市直営、つまり、勝山市が直接運用をするものが3台を考えている。残りの9台は業者に委託しようと考えている。どんなことを委託するのかというと、朝1便、夕2便の運行管理業務、つまり、定時定路線はちゃんと240日間走らせてほしいという委託を要望する。もう一つは主に日中になる。この12台は運行しないで空いている。その

	<p>有効活用として、9時から16時の間とか、土日、祝日での校外学習や行事等に運行する。目的外使用ということで、定時定路前以外の部分で委託を要望してはどうかということである。ここまでがこれまでのことを踏まえ、事務局、いろいろな機関等と相談した原案になる。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> これまでの議論の中で、いろいろな要望事項を網羅しようとすると、どこかしかに迷惑がかかってくるということで、本来の形である中学生をまず主体的に考えていくというところでの今回の提案を感じているが、説明いただいたこのスクールバスについてという中で、一つ一つ皆さんと同意を取っていきたいと思う。まず基本的な考え方というところ、これは先般から話しているので、おおむね共有できるかと思うが、この基本的な考え方の中で、何か質問とか意見があつたら、まずこの件について議論したいと思う。いかがか、あれば挙手でお願いできればと思う。
委員1	<ul style="list-style-type: none"> 一つ一つ言っていく。何点がある。意見をまず言う。資料3の17時50分出発が一番早いので・・・。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な考え方のところでお願いしたい。全般的な話だと拡散するので一つ一つ進めていきたい。まず基本的な考え方の枠の中の部分。
委員2	<ul style="list-style-type: none"> では一点だけ。質問というか、考えていることであればいいが、雪の際の保護者の負担ということで、当然、雪が降ると除雪をしないといけないところが出てくると思う。例になるが、ジオアリーナでいろいろな大会を例えば卓球の大会をするとなった時に、確かに土曜日は除雪が8時スタートだった気がする。平日だったらもっと早く除雪しないといけないとなるので、そこら辺は一応担保されていると思っているが、それが一点になる。雪の負担も確かにあるが、決してスクールバスの乗り口だけ除雪すればいいわけではなくて、駐車場も例えば先生の駐車場にするとかいう意見があつたので、そういったところもしっかり朝除雪をして臨んでいただけるのかという質問になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 現在だと、幹線道路が先でジオアリーナが最後になっている。それではバスが来てしまう。それは今建設課に話をして、バスが来るまでには除雪をしてほしいということをお願いしている。だから別の組み方をしないと難しい部分がある。
委員3	<ul style="list-style-type: none"> 令和9年の組み方は早めにお願いしたいという要望になる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> 他にはどうか。どのようなことでも結構なので、あれということがあれば質問等何でも言っていただければよろしいかと思うが、いかがか。基本的な考え方については当初からの通り、こういうような方向性で進むということで、理解いただけたということでよろしいか。それでは引き続いて、ここからが非常にいろいろあるところかと思うが、運行方法ということで、路線図についてはかなり以前から何回も議論する中で、3校区の方々でいろいろ議論いただいて、最終的なこれは業者の方も含めてだと思うが、一応12路線ということで路線図が記載されている。この内容と今回、若干変更になっているスクールバスの発着時刻になる。始発のバス時間が少し遅くする形になってきていることと、帰りの2便目の時間が前回に比べると一時間程度早くなっているということになる。この件について、何か質問や確認しておきたいということがあつたら、挙手でお願いしたいと思う。これで最終結論というわけではなく、この後市議会の方などでも検討を進めていくわけだが、今

	<p>日できたらある程度このPTA部会としての大体の案をある程度固めていきたいと思うので、忌憚のない意見をいただきたいと思う。北中校区の方としてはいかがか。</p>
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・北郷線は確かに遠い。出発は鹿谷線が一番早いが余裕があつてあまり早すぎずにちょうどいい。放課後はすぐに帰りたい生徒はいるので、これぐらいの時間でいいと思う。2便が部活修了が17時40分で想定されているので、出発に関してはこんなものだと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・前回だと、部活終了が17時40分でジオアリーナのスタートが18時半頃ということだった。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・それは遅いので。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・終了時刻に合わせての設定だと思う。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・いいと思う。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち時間を短くしている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻についてはよろしいか。待つ時間が短くなったということで生徒にとって負担も減るかなと思う。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生優先ということで。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・そう考えていきたいということになる。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど言おうとしたことは、周知の仕方になる。今中学生に合わせましたよ。高校生は別にほったらかしですというわけではないと思うので、その誤解するのを防ぐために、高校生は今車で送り迎えをしてもらっている現状があって、要はニーズとしては少ないというところは調べているので、その結果は中学生優先ですと周知するようにした方が間違いはないのではという意見になる。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校優先でいくのは当然の話かと思う。個人的な意見だが、勝高生が乗れないわけではない。少なくとも今よりはよくなる、今より悪くなるわけではないので致し方ない。何も問題はなさそうな気がする。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にあれば。
委員 11	<ul style="list-style-type: none"> ・今勝高生の現状は各家庭の車で迎えに行っているのではないか。
委員 12	<ul style="list-style-type: none"> ・結構多いと思う。
委員 13	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学校もそうかもしれない。
委員 14	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車も結構いるのはいる。車のほうが多い。
委員 15	<ul style="list-style-type: none"> ・バスはあまり使わないということか。
委員 16	<ul style="list-style-type: none"> ・そこに行くバスがあるかどうかも確かめていない。今までバスが使えていたのに使えないとか、自転車が使えないとか、駐輪場がなくなるとか、そうでなければ、ただ単に今よりもバスという選択肢が増えるということなので文句が出ないかと思う。
委員 17	<ul style="list-style-type: none"> ・早く帰りたい子にはメリットが出てくる感じがした。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の方からの話をいただいたので、小学校の方はいかがか。小学校のPTAの意見としては。
委員 18	<ul style="list-style-type: none"> ・路線図の中で滝波口と農協会館については全部のバスがそれぞれ停まるというように聞いたと思うが、この循環線の人数は滝波口と農協会館を合わせて12人が乗るようになっている中で、それぞれ遅い便に乗りかねないのではないかというところで、他の便が逆に乗れることにならないかという心配が

- ある。前、鹿谷線が遠いので、少しでも早く行けるように、そこをとばすことはできないかと言ったと思う。結局それは変わらずということでいいか。
- 事務局
- 農協会館あるいは滝波口はたくさん通る。資料4を見ていただくと、こちらでは農協会館で乗る生徒はここで乗ってくださいという、つまり紫の市街地循環線中部だが、ここで農協会館5人乗ってください、滝波口はここの5丁目の人たちが中心に7人乗ってくださいという、中学生に対しては指定していることになる。滝波口を通るのは他にもあるが、そちらには乗らずに中学生はここで乗ってねという指定をしている。だから一般の人は別に通る便でどこでも乗るとは思う。そんな感じにはなっている。だから鹿谷線は松田口は両方通るし松ヶ崎も両方通るしとか新保とかも通るが、一応分けている。それは一方にたくさん乗ってしまうと、言われるようにいっぱいになってしまふ。鹿谷方面も矢戸口の谷の方と西又の谷の方と、今はぐるっと回つて一本で行っているので時間がかかる。だから、普通に矢戸口から来ても30分かかるてしまうので、なるべく生徒には乗車時間を短くするということで少し現在あるバス停まで出てきてもらわないといけないという場合もある。もう少し地区の中の方へ入ってほしいという意見もあるが、そこを回っていると時間がかかるので、30分を目安に、大体作らせていただいた。
- 部会長
- もしそのバスに乗り遅れた場合、自分が乗るべき便に乗れなかつたが、後ろからまた来るバスがあるので、それに乗ってしまう。もし人数が増えた時に、乗れなくなるようなことが発生しないのか。
- 事務局
- 一応こちらで考えているのは定時定路線で決まっているので、その時間に乗り遅れてしまった場合は自己責任で考えていただきたい。例えば12分に出発なのに10分に出発したらいけない。12分に出るので、自分が14分ぐらいに来て行ってしまったというのは、基本的には自己責任としていただきたい。その生徒はもう1回家に帰つてうちの人がいたら送つてもらうとか、9時からのフルデマンドバスが動くのでそれを予約してもらって乗る。遅れるということを学校に電話をする。そういう対応をしてもらわないといけなくなる。逆に一般の人もどこで乗るのか分からないので、近づいてきたらたくさん的人数になってしまつて、本当にこの滝波口で乗りたい生徒がいっぱいになつていて乗れないということになると、これは逆に乗りたいのに乗れないわけなので、連絡をすぐ受けて、継続便といって市役所から車を出さないといけないと思う。
- 部会長
- 基本的にはどの路線バスに乗るということが決まっている中で、ルールとしては乗れなかつたらバスには乗車できない。ある程度そういうふうに決めておかないと、何でもいいとするのは難しい。今のような問題が発生するという気はする。その辺は非常に微妙になる。
- 委員 19
- 例えば7時52分に乗れなかつたが、自己責任だとしても後に来るバスに乗ろうという生徒もいる。1回それをしてしまうと、おそらく毎回それに乗るだろうという気はする。
- 委員 20
- それは、乗つてはいけないと運転手が言うのか。
- 委員 21
- 誰が判断するのか。やはり乗つてしまふと思う。
- 委員 22
- 顔も覚えていないし、制服を着ていたら停まらざるをえない。
- 委員 23
- やはり人がいたら停まると思う。

- 委員 24 ・同じ制服を着ているのに乗せないというのも非難が出るような気がする。
- 委員 25 ・子どもは乗りたいと思う。
- 委員 26 ・停まらないならいいが。
- 事務局 ・大きなルールとしては定時定路線だから、自分の決まった時間の便に乗る。でも遅れてしまって、後から来たから乗ろうというはあるかもしれない。そうすると、次のところで誰か乗れない生徒が出てくる。仕方がないので市役所から迎えに行くことになる。でも、何でもいいよとしておくとダメなので、基本としては決まったところで乗ってください。ただしいろいろな都合もあるので、仕方がない場合は後から対応することになってしまう。乗れなかつたらやはり自己責任だとしてもらう。
- 委員 27 ・運転手さんが乗ってはいけないとは言わないのか。
- 事務局 ・運転手は誰が乗った、乗らないというのはチェックしない。定時定路線なので時間が来たら出るだけになる。だから誰々が滝波口に乗るからまだ来ないから待っているということは絶対しない。時間になつたら出てしまう。誰も乗ってはいけないと何も言わない。
- 委員 28 ・大きなルールは出す。
- 部会長 ・逆に大体このバスに乗るのは誰かというのは、ある程度固定して分かってくると思う。乗っている子ども達も違う子が乗ってくると、なぜ乗ってくるのかという話も出る可能性もないとは言えない。だから今言うように1回そういうのを覚えて、10分遅れで次の便で行けばいいとなってしまうと、それはそれで困った話になってしまう。それは今度は教育現場として、その辺も子ども達に徹底させるのは必要という形なのかなと思う。今言われるようなことを全部認めると、それこそ本当に一番遅いバスに全部集中する危険性はある。
- 委員 29 ・雪の時期になると、除雪の時間もかかる。バスは雪のない時は順調に来るが、雪が降ると結構時間のロスが出てくると思う。これはやってみないとわからない。定刻の時間だが、この学校の時間に間に合うのか。大雪の場合もある。
- 部会長 ・その時はどの路線バスもアウトになるだろう。15分に来るバスが13分に来てしまうのはまずいが、15分に来る予定が若干遅れる可能性はないとは言えない。その部分についてはあくまで路線バスというものを自分で分かれば、少しそのバスを待ってそれに乗る。遅れても乗るという形をとる必要性はある。
- 事務局 ・勝山の除雪体制も大したものなので、なるべく遅れないとは思うが、どうしても降り続いていると遅れたりするし、本当に大雪の場合はみんなストップしてしまうし、学校が休校みたいになるかもしれない。そういう連絡は早めにしないといけないと思う。
- 部会長 ・このスクールバスの路線図は、各校区とバス会社の方とで一番冬の路線でも問題もない路線をある程度選定して決めていると思う。このところは実際本当に降ってきたときはどうしようもない時があると思うし、それは自然相手のことなので、致し方ない部分はある程度出てくることは否めないと思う。それでは今の別のバスに乗るということは、基本的な原則的なルールとしては、あくまであなたはこの路線バスに乗りなさいと決めて、そのバスに乗るということを進めていく方向でよろしいか。実際のところバスが動いてみる

	といろいろなことがあるかもしれない。それではあと心配なことはあるか。
委員 30	・子どもが今習い事をしていて、このまま続けるとなると部活動は外部になると思う。そうするとこの時間に帰ってくると、外部の習い事に間に合わない可能性がある。迎えに行くということになる。
事務局	・これは放課後になつたらバスを出すということなので、もっと早くというのは厳しい。習いごと等があって、この時間帯で帰ってくると間に合わないということになるなら、それは学校に連絡していただいて迎えに来るということは言っておくことかと思う。今はどうされているのか。小学校だから間に合うということか。
委員 31	・今は間に合う。中学校で部活がないと3時半ぐらい。
委員 32	・3時50分ぐらい。
委員 33	・それでも全然間に合うが、バスに乗って帰ってくると5時ぐらいになる。
委員 34	・どうしてもバスに乗らないといけないということではないと思う。迎えもある。
事務局	・いろいろご家庭の事情があるので、それは事前に学校の方に言っておいてもらえばと思う。例えば朝はバスで行くけど、帰りは迎えという日が何日間かある可能性もあるし、毎日迎えだという人もいるかもしれない。
部会長	・多分今後、部活が外部でというケースが出てくると思う。そういう時はあくまでこれにとらわれずに、迎えに行かざるを得ないという状況が出てくるかと思う。
事務局	・逆に必ず乗ってきた例えば鹿谷線だったら鹿谷線に乗るのではなく、次の習い事のある路線に乗って帰ることも可能になる。
部会長	・それはあるようにするのか。
事務局	・これは部活なしの便と部活ありの便になっているので、基本的に1便に乗る全体の人数は減っている。全員が1便で帰るわけではないので、その辺は人数を見ないといけないと思う。例えばそれはまちうちでやるので、そちらの便に乗るとかいうことも可能といえば可能になってくる。もちろん家の人の迎えでもいいと思う。
部会長	・そのところはやはり原則的にする。今回、各家庭からの送り迎えを減らすという原則でやっている。今のような形で行けるのであれば、別の路線に乗るという形で、あくまでも家庭からの送り迎えができるだけ減らす。その趣旨は守らないとという気がする。よろしいか。今のようにもし他の路線で、代用できるのであれば、そちらで移動していただくということで進めていく。
委員 35	・やってみないと分からないところがある。子ども達の登録方法を担任が全て把握することはできないと思う。仮にいつもバスだが、今日は迎えに行くと親御さんから連絡をいただいたとしても全てコントロールを担任がすることは難しい。部活の時間に担任は部活を行っているので、それはもう前提で、多分実際のところは臨機応変になるのではないかと思う。
委員 36	・地域移行の話が出たので、どうなるかこれも分からぬので仮の話だと思う。地域移行を例えば旧中学校の体育館でやりましょうとなった場合、この路線図は中部中学校前を通っていない。北部中学校前、南部中学校前はある。今の話、何部は旧中部中学校なので乗って行くとなつた時に村岡公民館で降

	<p>りるという形になる。何部は南部中だ、北部中だ、乗ってもいいよとなつても、これ別に中部中前を作る必要は今はないとと思うが、地域移行が絡んで各中学校を利用するのであれば、この路線図に難があると気づいた。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんから意見をいただきたい。
委員 37	<ul style="list-style-type: none"> ・部活で現中学校を使用するのであれば、そこは柔軟に始まってから臨機応変に対応していただけるようにしていただければいいかと思う。初めからこの固定観念ではなくて、柔らかくして、一回部活のことも頭に入れておいてもらって、いつかここにバス停を置いてみてもいいのではないかという案だけは残しておいて、実際回ってみなければ結局始まってみなければ分からぬ部分が多い。その案を少し、原案で残しておいていただければいいのかな。結局、先生が言われた通り、始まってやってみないと絶対分からぬ部分の方が大半だと思う。現状今聞いていても、部活をやっている子の方が多いと思うが、その時にその心配を少し軽くなるようにしていただければ、親としても安心になる。中学校としても現在あるものを使うという意味では大切だと思うので、その案を現在に残していただければいい。今は作らなくてもいいが、結局部活を始めた時になしにするというのでは、皆さんが困ると思うので、原案として残していただければいい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今の件について何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・これは案で基本的にはこうなる。例えば村岡公民館で降りてもらえば中部中までわずか2、3分で着く。そこまで寄るのかという話もあるし、まずはやってみてになるとは思う。
委員 38	<ul style="list-style-type: none"> ・なければそのままでいいかなと思う。
委員 39	<ul style="list-style-type: none"> ・令和9年の4月に開校だが、実際のところもこのバスに乗るというこれは今考えたシミュレーションだが、事前の1回練習みたいなことは、生徒が実際に乗る4月以降は難しいので、それまでに1回やってみるといい。生徒もこういうふうに乗っていくんだとわかるし、当日ドキドキよりも、もし可能ならばどうか。シミュレーションも大変だなと思っている。やってみないとわからないという声もある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いわゆる体験乗車になる。勝山では子ども達はあまりバスに乗ったことがないでの、それは大事だと思っている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・蛇足だが、先ほども停留所の追加になって、路線の組みかえになると大変になる。例えば中部中とわかっていていいが、突然別のところでクラブをするようになったので、そちらへ路線バスを回してほしいとなると難しい。
委員 40	<ul style="list-style-type: none"> ・林業者体育館とかになると切りがなくなる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・やはりこの路線を原則的に考えていただいた方がいい。その都度追加ではどうか。途中ならいいが路線を変えるとなると大変になる。
委員 41	<ul style="list-style-type: none"> ・別に路線を変更するのではなく、近くにあればその間で歩ける圏内にあると思う。途中で停めてもらえばいい。そこを考えてくれればいいなと思っただけで、回ってほしいとは言わない。直線上で考えていただければなと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・一回これは業者の方との関係もあると思うし、一応検討いただくということでお願いしたい。他は何かあるか。
委員 42	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんと一緒にやってみないと分からぬ。今の保育園の子ども達が中学校になってくる頃にはまとまっていると思う。

部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度、机上での議論というのはおおむね出尽くしてきているのかなという中で、できればP T A部会としても、冒頭にも話したようにある程度今日のこの案を一つのP T A部会からの提案という形で、出せればと考えている。最終的にもう一度皆さんの意向を伺うつもりではあるが、今の運行方向のところも、以前から議論させていただいてきているので、ある程度理解していただいた中での質問を受けたいと思う。他によろしいか。
委員 43	<ul style="list-style-type: none"> ・この運行方法の②で、聞き逃しているだけかもしれないが、夏のお盆の時とか、年末年始をのぞきということは夏休みも運行するということになる。そうなると、例えば部活動は、平日2時間だが、夏休みは午前中部活をやった子は朝は乗れるが、帰りは何かを考えるということで、午後の部活の方も来るときは考えるということになる。乗るか乗らないか分からぬところをエコな考え方ということもあるが、バスが空で回すことをやっていくということでいいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みも動いている。実際のところ、中学校の現状を見ると、部活で来るとそうかもしれないが、いろいろな活動も行われている。後半になると、例えば体育大会の練習とかいろいろある。給食はないので弁当を持ってくるかどうかはわからないが、そのために全部を組み替えると大変なことになる。言わされたようにバスに乗っていない場合もあるかもしれないが、一応この定時定路線で回していただく。例えば土曜日でも日曜日でも保護者会があつて全校が動く場合については、ここの目的外使用の部分で対応していただけるといいかなという事務局の考えになる。
委員 44	<ul style="list-style-type: none"> ・空でも動いているということになる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にいかがか。おおむね出尽くしたか。あとでもう一度振り返って、質問を受けたいと思う。それでは次の三番目のバスの車両についてということで、これについては来年度の予算申請ということもあって、早く決めないとと思うが、ここにあるような台数、全部で12台を新たに購入する。それで回すことだが、これについて何か質問等あるか。
委員 45	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの大きさと人数は大体あつているのだろうと思うが、これについても突然どこかの地区的子ども達の人数が増えたので修正していただけないかとなつたら、その時はバスを変えるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じてになる。
委員 46	<ul style="list-style-type: none"> ・議会ではないが、説明をするのはこの資料を元に出すという形になるのか。この案で出すという理解でいいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・議会でもどんな質問があるか分からぬが、P T A部会で提案したものとすることになる。
委員 47	<ul style="list-style-type: none"> ・そうならば、資料4の右に計がある。合計を計算すると306名になる。資料6のバスの人数306名と同じになる。それを付け加えておいた方が分かりやすいと思う。なぜかというと平泉寺方面は資料4では23人で資料6は24人が対象で全部を合計すると一緒になるので、多分他の路線を乗る人とかでこうなっている。分かりにくないので車両は12台で306名、資料4と資料6は人数は細かくは違うが同じだとすると分かりやすい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・言われる通りになる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・バスについては12台を新規に購入する形でお願いしたい。それでは4番目

	の業務委託ということでこれについてはだいたい理解いただけたか。市直営3台、業者委託が9台とかいうこの分け方とか、その辺で質問等あれば。よろしいか。
委員 48 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・書いてある通り、学校の行事とかにも運用できるということか。 ・例えば、一日貸し切って、どこかに行ってとなるとバスが帰ってこないということになるので、あくまでも定時定路線の朝と夕の間になる。校外学習でどこどこに行くので、小学校の子を何人乗せてほしいとなると、それに適したバスを用意することになる。
委員 49 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校だけの利用ではなくてということか。 ・小中になる。
委員 50	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがたい。
委員 51 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの移動範囲とかはあるのか。 ・今の実績を踏まえてのことになるので、例えば今年度どういうふうに利用されているか、その中で帰ってこれないものは、学校でやってくださいとなりし、できる範囲のことになると思う。例えば金沢へ行ってほしいというのは、間に合わない可能性もあるので、ちゃんと帰ってきてもらわないといけない。ある程度今年度行った実績でということになる。
委員 52 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・奥越、大野勝山ぐらいなら可能になるか。 ・可能だと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生だと大会にバスをチャーターして移動している。いろいろな大会にもこれを使うのか。これは別なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日程が合えば使える。
委員 53 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・土日であれば使えるということか。 ・そういうことになる。
委員 54	<ul style="list-style-type: none"> ・中体連ということか。
委員 55	<ul style="list-style-type: none"> ・今現在は、各中学校の予算で出しているのか。
委員 56	<ul style="list-style-type: none"> ・市の予算の中で中体連がいただいて動かしている。
委員 57 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・12台のバスはどこに保管するのか。 ・今検討中で、業者さんが持つという場合もあるし、市のバスは管理しないといけない。業者さんがどうしても車庫がないという場合も考えなくてはいけない。いろいろ考えている最中になる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・相対的にスクールバスについて1から4の項目についていろいろ質問や意見をいただいたが、ここでもう一度全体的なところで確認しておきたいということがあつたら受けたいが、いかがか。これまでかなりいろいろ議論をさせていただいてきているので、おおむね理解していただけたかと思う。それでは一応、今話していただいた件で、スクールバスについてはこれをPTA部会からの提案という形で出させていただくということでおろしいか。今後先ほどより実際やってみないとわからないという部分を含みながらのあくまで机上での提案という形でPTA部会の方から出させていただきたいと思うのでお願いしたい。
(ジオアリーナ周辺の動線と通学方法について)	
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは続いて、次にジオアリーナ周辺の動線、バスの取り込みとか、通学方法についての説明を事務局の方よりお願いしたい。

- 事務局
- ・前回もいろいろと話し合いをしていただいた。資料5をご覧いただきたい。それから資料6も合わせてお願いしたい。前回ここにジオアリーナの駐輪場がある、それから勝高の自転車小屋も借りることができるという話もあつた。つまり1.5kmまでの生徒は歩いてください。1.5kmから3.0kmまでの生徒は自転車かそれともバスか、少し問題になるということだった。3.0kmを超えると遠いから文科省の補助もつけていただいているので、バスに乗ってください。前回は1.5kmから3.0kmの生徒は原則バスだけどという感じだった。しかしこのままでキャパが足りるのかとか、ここに喫煙所があるとかの話もいただいた。そこで事務局でもいろいろと検討させていただいた。一点目は長山トンネルになる。長山トンネルを通って自転車に乗ってくると柵がない。子ども達、あの大きなリュックを背負ったりする子もいるかもしれないしあるいは自転車に附いているかもしれないが、事務局としては非常に危険ではないかということになった。そこで警察にも相談をした。一応通行としては自転車は許可できるが、あのトンネル内は柵がないので警察としてもお勧めはできないということだった。こちらでも考えた時にはやはり危ないのでないか、幅があったとしても少しでもふらふらとしてもし万が一、道路の方へ落ちた場合には車が来てしまう。実際に2年ほど前には交通量も調べたことがある。この8時近くというのがどちらの方面も非常に車の量が多い。しかも運転している方は時間がないのでかなり飛ばしている。現在、勝山高校もトンネルを通してない。ここを通行可にするということは、かなり危険リスクが高い。その時の交通量でも10分の間で約100台ぐらい通る。だから、この時間帯には500台、600台ぐらい通ることになる。非常に危険だなという判断である。もしその柵がきちんとついているなら別だが、少し難しいのではないか。それからこのジオアリーナもバスが12台やってくる。場合によっては送迎の車も入ってくる。そんな中で自転車を坂道で來るのも危ないという気もする。そこで、事務局の結論としては、ここのジオアリーナの自転車の駐輪場は極力使わない。原則バスに乗ってほしい。でも、どうしてもやはりいろいろな事情があるので、そういう時にはこの間も皆さんから出していただいたように、親御さんの一筆というか申請があれば、勝高の自転車小屋をお借りすることになる。極力バスを利用していただきたい。ジオアリーナの駐輪場は利用しないというのが、今事務局の結論になる。資料6を見ていただくと下の方に書いてあるが、徒歩の生徒は149名になる。バス利用できる生徒は残りの306名になる。1.5kmから3.0kmまでの生徒がたすと145名いる。みんなに自転車を許可するのかという話しになる。とてもキャパ的には厳しくなる。原則はバスに乗っていただく、しかし特別な理由があつてということであれば、勝高の自転車小屋をお借りして止められる分だけ、約40台になる。これもやってみないとわからないところもあるが、保護者送迎の場合は本当は送迎しなくてもいいのだが、保護者送迎の場合はこのように回ってくださいという図が資料5になる。
- 部会長
- ・説明があったように、通学方法に基づいて、自転車通学の部分についての論点になるかと思うが、いかがか。基本的には145名、単純に数字だけでいけばそうなるが、この生徒達は基本的にはバスに乗っていただいて、自転車通学は基本0人でお願いしたいという提案になる。何か意見等あればお願ひし

たい。確かに今言わされたように長山のところは危ない。南部中校区から来るとすると、左側通行をして、こここの横断歩道を渡って上がっていくという形になるし、そこにバスが入ってくる。確かに送迎用の車が入ってくる。ジオアリーナに上がっていいくところには、車道だけではなくて、路側帯みたいなものはあるが、車のすぐ横を通過する、同時にバスの横を通過するということで、非常に危険リスクは伴うかなと感じる。そうすると、勝高側の方に回っていただく。勝高の玄関側の方の駐輪場の方に停めていただくという形になる。

- 委員 1 • それが特別申請書になっていくことになる。勝高にもお願いする形で申し訳ない。原則はバスで 145 名いるが、一応特別申請書により自転車通学を許可するという想定だが、その特別申請書で勝高にお願いする。
- 委員 2 • 勝山高校の寮を建設する旧市営体育館跡地の図面はわからないが、例えばそこに駐輪場を作るということは想定しているのか。もし仮にしてたとしたら少し増やせないかな。要は南側から来る生徒たちの駐輪場として活用しよう、北側から来る生徒については、トンネルが通れないで、村岡から下がって勝高生と一緒に道を通ってくださいというところが考えられるといいと思った。何か情報はあるか。
- 事務局 • そこに駐輪場ということは今のところはない。とにかくまずはバスで、勝高の自転車小屋をお借りして、40 台ほど。さらに増えた場合は晴れだけ認めるとか、その代わり青空駐車みたいになるかもしれない。
- 委員 3 • 何か協力してあげるよというようなところを例えれば募るとか、市営駐輪場を作ってくれとまでは多分ない。あまり勝山高校の近くにそのようなところがあるのかピンとはこない。例えはそういうところに協力をしてもらって、そこまで行って、そこから歩いて行くという話になる。それでもいいと言うのであれば、今のジオアリーナの近くに行くこともないし、危険箇所というところを回避できるのであれば、そういうところもありではないかと思う。
- 委員 4 • 勤労者体育館を壊した後、あそこは何か計画があるのか。
- 委員 5 • 西校のところ、あれは私有地だ。駐輪場の建設だったりすれば、そういう協力とかは十分考えられるのではないかと思う。
- 委員 6 • これも実際、40/145 で自転車通学ができるキャパがある。やってみないと分からないと思う。ただ実際に起きてくるのは夏休み中だけの期間限定自転車通学生が絶対希望があると思う。バスが片道通行なので、ただそうなった場合は空き地さえ、勝高に貸していただければ、雨が降ったら絶対乗ってこないので、置かせていただいて、部活をして帰るという子は多分認めてあげないといけないのではないか。当然ヘルメットもかぶり、許可証を出して。現状だと、105 名の自転車通学生のうち、晴れるとどんなに多くても最大 80 台。雨が降ると最大 6 台ぐらい。4 人ぐらいは常に乗ってくる闇達な子がいて、それと同じぐらいのレベルで増減すると思う。
- 部会長 • 今いろいろと貴重な意見をいただいたが、なかなか民間企業の駐車場を利用させていただくというのもハードルが若干高いようなこともないことはない。費用的なものとかもいろいろ発生するだろうから、そのところも含めて、最初からそれを想定するのではなく、今後それも一つの検討事項として、お考えいただくということにしておいて、あくまで今現在物理的に可能なこと

が、勝高の駐輪場 40 台まで。ここで通学方法を取り決めしておかないといけない。いろいろなケースを想定してやっていくと、どんどん話が膨らんでしまう。基本的には 40 台までの部分が一応勝高の駐輪場の方から貸していただけるということになっているので、3.0km 未満の 145 名のうちの 40 のところも実際申請を出してもらわないとどれくらい出てくるのか分からぬ部分もあるので、現段階で可能な範囲内というとこれぐらいの台数という中で、実際に中学生及び親御さんへの説明においては、こういうような形での説明しか現段階ではできないと思うので、皆さん方にその部分も理解、了解いただいた上で、これも一応 P T A 部会からの案として指示させていただくという形を取らせていただきたいと思う。先ほど言われるように、他の駐輪場も可能性としては多分考えられると思う。実際にもしかしたら 40 台で足りるかもしれない。そうしたら他に借りる必要もない。その辺のところはまずはこの台数で何とかいけるような運用をお願いするという方向で進めていければと思うが、よろしいか。鹿谷の方から自転車で来たりすることはあるのか。

- 委員 7 • 勝高生にはいる。
部会長 • 中学生だとまだ無理か。
- 委員 8 • 車での送迎はジオアリーナでしかしないということでよろしいか。勝高まで来ない。
- 事務局 • 勝高周辺に徒歩の生徒も来るし、先生方の車もやって来る。中高生がたくさん来るので、車の送迎の場合は、ジオアリーナに行ってくださいということになる。
- 委員 9 • それだけ徹底をしてほしい。徒歩の 149 名が来たとしたら、地下横断歩道に行くのか、それとも、勝高の正面に来るのか。
- 事務局 • これは方面によってになる。この 1.5km というのは、北の方の子もいれば、南の方の子もいるので、地下横断歩道を場合によっては通る子もいるし、普通に勝高の方へ来る子もいる。
- 委員 10 • 大体勝高側になる。
- 事務局 • 北の方は山なので多分勝高側になる。ただ、勝高の玄関に入るわけではない。中学校の玄関はもっと奥、反対側になる。地下横断歩道側に中学校の玄関がある。
- 委員 11 • 校門みたいなところ、正面のところに歩きの子は入ってくるということか。
- 事務局 • そうなる。そしてその左側をずっと屋根付き廊下に行くことになる。勝高の生徒はそのまま入る。
- 委員 12 • 勝高の校門から、勝高生は車で入れるが、例えば兄弟で高校生も中学生もいるという場合は、一回降ろすのか、どうなのか。
- 部会長 • 勝高も中に車は入れないのでないか。長山の下か芳野医院か。
- 委員 13 • 公衆電話のあるところから中に入らないとなっている。兄弟がいたら仕がないのではないか。
- 部会長 • 今度は時間が一緒になったので、そうすると多分一緒に乗ってくるケースが多いのではないか。
- 委員 14 • 兄弟なら一緒に降りてもらえばかかる時間も同じだから仕がない。一緒にさっと降りてもらえばいい。

委員 15	・それは少しいやらしい感じだが、仕方がない。保護者からそういう質問もあるかもしれない。
委員 16	・いろいろな人がいるが、兄弟ならいいのではないか。
委員 17	・逆にそれを許容しないと危ない。
部会長	・下の子だけ歩いてというのもどうか。高校生を長山の下まで車で送つてくる。そのときに中学生も連れて来た時に、中学生が車から降りてきた時に何か問題はないか。
委員 18	・高校生は地下横断歩道は通れるのか。
事務局	・通れる。車は本当はみんなジオアリーナの方に行ってほしい。
部会長	・高校生もそうするのか。
事務局	・事務局としては高校生もお願いできれば行っていただきたい。でも、いろいろな高校の保護者の皆さんと考えとかもあるので、絶対ではない。本当はこの混雑を避けるには、全部車はジオアリーナに行っていただくと、そのまま兄弟でも地下横断歩道を通って来ればいいことになる。
部会長	・実際に部活が終わって迎えに来る時に、校舎の中に入ってくるではないか。
委員 19	・一応、一方通行になっている。できれば安全かもしれない。
部会長	・周辺の家の方々から、危ない、通行が危険だと言うので止めてている。特別支援学校から上がつてくる道路は通れなくなっているはずだ。逆に教育委員会の方から高校の方へ言つていただくとどうか。
事務局	・校長先生とか先生方としては、今現状でも危ない状況で一方通行にしたりとかというルールを作っているので、できればジオアリーナの方へと考えてはおられる。それは勝高の保護者の方にも理解していただかないといけないので、そこは相談しながらやっていく形になるかなと思う。
部会長	・通学方法については理解いただいた。他に何か質問等ないか。よろしいか。では、スクールバス並びにジオアリーナ周辺の動線と通学方法については、本日事務局の方より提示いただいた内容に沿った形で、PTA部会の方としては了解するという方向でいきたいと思う。よろしいか。では本日の意見交換の中のスクールバスとジオアリーナ周辺の動線、通学方法については、以上をもって議論を終わりたいと思う。
(その他)	
部会長	・残りの時間を利用して、新しい中学校でのPTA組織ということについて、3中学校の方でいろいろ議論いただいた内容があるということなので、紹介いただきたいと思う。
事務局	・参考資料をご覧いただきたい。最初はPTA組織について3中学校のPTA会長さんに何回か集まっていただいて立てた案になる。まず会長、副会長だが、今は3中学校があるので、会長は1名、副会長は3名で南部、中部、北部の校区から一人ずつ出していただく。監事が2名で、組み方としては、会長が出られたところは、女性の副会長で、それ以外のところは監事と副会長、監事と副会長とペアで選ぶ形になっている。2番目に委員会の数は、15クラスもある中で、今どの中学校にもある必要だというものを三つ考えた。便り関係で広報委員会、スポーツとか文化教育関係で子育て委員会、そして環境整備、この三つを作った。地区委員会は一応地区代表という形で、やはり一人ずついてもらった方がいいのではないかということになっている。この委

員を決めるとなると、各クラス2名としても、新中学校で30名になってしまう。そこで三つの委員会に10名ずつ入っていただく。現在ももう決めていただいているが、今年度は入学式の時に南部4名、中部4名、北部2名決めていただいた。10名は既に決まっているので、8年度も10名決めていただいて、20名になって令和9年度の一年生で10名決めていただければ、30名になる。地区委員会はそのままいくと86名という大所帯になる。でも一応このように置いておきましょうとなっている。次に会費と予算だが、これは7年度中に検討する。今のところ2,000円でいいのではないか。現在はどの学校も3,000円とか取っているが、450人になるので、2,000円にしても90万になってしまい。だからここは負担を下げるということで、2,000円でとりあえずいくことになっている。特別会計も同じように2,000円にしてはどうか。今の3中学校のPTAをこの8年度にしまわないといけないので、実際その第3回目の時に3中学校の会計担当とかに集まっていたら、8年度の予算をどうするのかを決めることになっている。例えば残金がたくさんあるのに、また会費を取ってたくさん残すのかという話になるので、必要最小限のものは3中で揃えて取っておいて残りは例えば8年度は会費をその分下げるという話も出てくるかもしれない。ここら辺は1月頃に、3中の皆さんに集まっていたら、話をしようということになっている。その他だが、会長のローテーションは決まっていると決めやすい。8年度、9年度と続けていただけだと本当にありがたい。知っている人がこのまま上がっていただけたので、今選定中だが、いろいろな動きもあるみたいなので、後ほど付け足しをお願いしたい。それから問題になったのが、会長のあいさつで総会と連動するので決めてほしい。要するに入学式の挨拶は新か旧かどちらの会長がするのかという話になる。それから資源回収だが、これが大変だらうとなった。1回やると勝山全部になってしまう。皆さんで話し合っていたのは、案1としては資源回収はしなくてもいいのではないか。案2は3年でローテーションしてはどうか。案3は年3回で今より負担が増えるのではないかということだった。今後の方向としては別紙の規約案ができた。3回目を1月に開催して、今度は総会で締めなくてはいけないので、来年度の予算を決めていこうという話になっている。次に新中学校のPTA規約案になる。3中学校の会長でこんな形でどうかというのを決めていただいた。赤字のところが主に今までなかった部分になるので、見ていただきたい。第四条は今回の趣旨に賛同するもの、実はPTAは任意団体になる。こういう文言を付けさせていただいた。五条は先ほど言ったものになっている。ここには女性とは一言も書いてない。でも内規としては、会長のところへ女性に是非入っていただきたいということになっている。2ページ目の委員の数は学級数かける2名とさせていただいた。3ページは年額会費は2,000円となっている。どの項目にもあるが、一番最後に本規約は、初年度の総会の承認を持って施行する。つまり、認めてもらわないと進まないので、新中学校のPTA総会を多分4月にやると思うが、その時にまずこの規約を認めていただくことからスタートになると思われる。4ページもこんなふうに書いてある。一応、慶弔規定、表彰規定も作った。最後5ページ目にも教育振興費関係で、特別会計的になるが、これも全部で2,000円になっている。役員選考

規定もある。ここまでが話し合っていただいた内容になる。付け加え等があったらよろしくお願ひしたい。

- 委員 1 • 3中で会長に集まっていたいいろいろ揉んだ。大方この通りである。今、中部は11月、北部、南部も順次、1月に次の第3回目を開催するので、一応今の役員だったり、今後の令和8年度に向けて、今こういった形で進める予定だというところを周知してやっていく予定だ。考えとしては、実際進めていくのはやはり新中学校、勝山中学校のPTAの方々に実際はなってくるので、基本的には素案はある程度早く作って実際に運用のことは、その方々になってしまふので、細かく突き詰めても、結局一緒かなと思って、早めに方向性を出すことにしたいと思っている。会長のローテーションも実はあらかた決まってはいるものの、そういったところは意見を聞きながら市P連のローテーションの情報もあるので、そこら辺を鑑みて進めたいと思う。おそらく3中学校の令和8年度に向けては、令和8年の人には令和9年度も一応連続でやってもらうことを前提に進めるので、要は会長になるところは令和8年度の役員もある程度それを見越さないといけないので、今からの2ヶ月ぐらいは一応そういう形を各中学校で話してもらってやっていく予定である。会費についてはおそらく2,000円ぐらいというのは母数が増えるのでこれぐらいでいいけるだろうという試算になる。資源回収についてもいろいろ意見もあったが、年3回だと負担がいろいろある。先生方の人数は変わらないというか、3回やらないといけない形になるので、非常に非現実的だというところ、ローテーションをするにしても、いろいろ大変なのでいいけるのであれば案1がいいのではないかというところはあった。正直資源回収は各自治体だったり、小学校もいろいろやったりしているところもあるので、そこはある意味、令和9年の人たちで必要に応じてやればいいというところを含みで最終的にどうするかということはまた検討してほしい。以上になる。
- 部会長 • 今持っているお金をどうするのかというところもある。
- 委員 2 • 後は閉校式とかも、内容もそうだが、試算関係をPTAとして何かベースにしないといけないところがあるなら見て、来年度予算を考えないといけない。各中学校で、例えば閉校式に差をつけていいのかどうかも定かではないので、ただ3中学校が同時期に閉校するのは間違いないから、基本的にはそんな差はない方がいいのかなと思う。
- 委員 3 • 各中学校で残っている予算が全然違う。
- 部会長 • これは参考になるのかどうかわからないが、資源回収の件になる。実際、会費がこれだけ集まれば、しなくてもいいのではないか。
- 委員 4 • そういう見通しと、万が一値上がりしたとしても資源回収をしなくていい。負担はみんな減る。
- 部会長 • 資源回収をしても、地区の資源回収とぶつかる。地区の資源回収をやって、その2週間後ぐらいに小学校の資源回収、そして中学校の資源回収。同じような時期に来て物がない。資源回収をしようとする親御さんに土日にしてきてもらわないといけない。秋の雪廻いをする時の作業奉仕をやっている。その時に各自、家から新聞紙を学校まで持ってきてほしいと言って、そこに業者の人が待機してもらって、それで資源回収の代わりに、少しでもお金になればということでやった。結構集めることができた。みんな車で新聞紙やダンボールの類だけなので、結構持ってきててくれた。そうすると、別に新た

	<p>に土日を設定して、作業をしなくてもできる。そういうことをやった。今も続いているらしいが、そういうことも一つの案として、それがいいわけではないが、逆にやらなくてもいいのならしない。お金がある程度あるのならいい。</p>
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・もともとお金がないからこうやってしている。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収が部活動とかいろいろ子ども達に還元する形になると実は地域移行に向かっていくと例えば資源回収のお金をそこに出すのかとか分からぬ部分が正直ある。場合によっては学校の部活で何部はもう全部地域移行になって、部活がないとなった時にこの子には自分の部活がないのに負担するのかとか、恩恵はあるのかとかそちら辺が想像できなくて、そういう場合は必要に応じてなのかなと。原案としてはなくとも大丈夫ならという感じだった。分からぬところもあるので、暫定になる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだいろいろ大変だと思うが、よろしくお願ひしたい。では同窓会についてお願ひする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・3中学校の同窓会長にも集まっていたい、同窓会をどうするかということを話し合っていただいた。まず組織については8年度の末で各中学校の同窓会は解散する。閉会式までは不要である。ただし、市の広報で8年度の1月か2月に市民の方にお知らせしてほしい。例えば各中学校ごとに閉校式が行われる。日程が決まっていればこういうことも案内してほしいということでお聞きしている。南部中は閉校式の後に同窓会長が宣言を行う。同窓会はもう解散ですみたいなことを言う。北部はいつも同窓会報を出しているので、8年度夏頃に知らせる。それから残金をどうしようかという話になってまとめとしては、3中学校の同窓会費を合算して新中学校の校旗を寄贈をしたい。これを開校式でぜひ贈呈してほしい。残ったお金は、新中学校に寄付する。校旗に刺繡するかという話も出たが、結論としては校旗を収める箱に3中のそれぞれの名前、同窓会寄贈と書いてほしいと校旗には書かない。その他としては、記念碑とかカプセルとかいろいろあるのではないかという話になって、それを残しておいてもどうするのかという話になって、結局まとめとしては市に一任します。という形で同窓会長に一筆書いていただく。モニュメントや銅像、記念碑、記念樹等は市に一任するという一筆を来年度の春頃に書いていただく。タイムカプセルについては令和8年度のお盆前に市の広報でお知らせしてほしい。タイムカプセルなど、記憶のある卒業生の方は学校にお知らせください。新中の同窓会については、これは新中で考えてほしい。つまり第1回目の卒業生で考えてくださいということだった。以上になる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムカプセルは誰も管理していないだろう。卒業生だけが知っている。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・中部はタイムカプセルを埋めたものはないが、収めたものはあるので取りに行く。そうすると、その時の校長先生だったり、教頭先生だったり、教員の人が全部対応しないといけなくなる。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・全部対応している。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・結構大変だなと思う。
委員 10	<ul style="list-style-type: none"> ・校旗に書かないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会長はそう言われていた。箱に書いておいてほしい。

部会長	・三つの中学校をかかないといけない。
事務局	・今からいろいろな寄贈があっても、校旗だけは先約があると言われた。いろいろな寄贈がもしあったとしても、校旗は同窓会だからとお聞きしている。
部会長	・北部は毎年会報を出しているのか。
事務局	・2年に1回になる。
部会長	・どこかに配るのか。
事務局	・荒土、鹿谷、北郷に各理事がいる。北部校下、全戸に配布する。
委員 11	・中学生のいる家だけではなくて全部に配る。
部会長	・新中学校のPTA、同窓会の方は引き続きまた詰めていただきたい。よろしくお願いしたい。
委員 12	・次にあるのかわからないので、除雪のことを聞きたい。先ほどジオアリーナの除雪のこともあったと思うが、勝高の正面の除雪について勝高と話をしたのか。
事務局	・今からになる。
委員 13	・市道が少し除雪が遅いとか、おそらくPTAが所有しているブルドーザーで直営で除雪をしているが、中学校もいるのであればどうなるのか。それにPTAの方で除雪の維持費とかを出している。そういうことも施設管理者と話をしてほしい。できたら、市の方で中もやってくれるといい。徒歩の生徒がどこから来るのかを聞いたから、共有スペースになるので、動線も違うので、違った除雪も必要なのかなと思う。除雪の方法と費用の分担とか、そういうことも勝山高校と話をしていただきたいと思う。
事務局	・今、勝高独自で、施設員が一生懸命全部してくださっているが、今度どうするかを話し合い、協議させていただく。
部会長	・前だけだったか、市道で除雪をしてもらえるのは。
委員 14	・何か遅くてやってくれない。来てくれないから施設員が全部やっている。また見直しをお願いしたい。
部会長	・よろしく検討いただきたい。今日の議題は以上になる。ありがとうございました。
事務局	・長時間にわたりいろいろな意見をありがとうございました。スクールバス関係については、本日いたいた意見をもとに、再編準備委員会や議会の方にも報告する中で、さらに精査をして、最終的に進めさせていただく。次回の第3回PTA部会では進捗を報告できればと思う。以上で第2回PTA部会を終了させていただく。ありがとうございました。

資料1. スクールバスについて（案）

資料2. スクールバス路線図（案）

資料3. スクールバス発着時刻表（案）

資料4. スクールバスルートと乗車人数見込（案）

資料5. スクールバス停車位置イメージ+徒歩+送迎車の動線（案）

資料6. スクールバス利用人数予測（案）